

横浜市国民健康保険加入者の特定保健指導効果の 継続性(平成26年度～平成28年度)について

<分析結果概要>

- ◆特定保健指導(積極的支援及び動機付け支援)の効果が、どのくらい継続するのかを、指導実施1年後、2年後の検査結果から分析しました。
- ◆分析した検査項目は、以下の9項目
BMI、腹囲、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、空腹時血糖、HbA1c
- ◆BMI、腹囲、中性脂肪、HDL コレステロールなどで、保健指導を利用した人は利用していない人よりも、指導2年後の検査値の改善度合いは大きく、一度保健指導を利用するとその効果は2年間継続する可能性が示唆されました。
- ◆BMI、腹囲、拡張期血圧などで、保健指導を利用した人だけでなく利用していない人でも、2年後の検査値が改善していました。
このことから、健診の継続受診が検査値改善に効果がある可能性が示唆されました。

(1) 保健指導利用者の方が未利用者よりも、1年後及び2年後の検査値の改善度合いが有意に大きかった項目

<積極的支援対象者> BMI、腹囲、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪
HDL コレステロール

<動機付け支援対象者> BMI、腹囲、中性脂肪、HDL コレステロール

(2) 保健指導利用者の方が未利用者よりも、1年後の検査値の改善度合いが有意に大きかった項目

<動機付け支援対象者> 空腹時血糖、HbA1c

(3) 保健指導利用者、未利用者ともに、1年後だけでなく2年後の検査値も有意に改善していた項目

<積極的支援対象者> BMI、腹囲、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪

<動機付け支援対象者> BMI、腹囲、拡張期血圧、中性脂肪、
HDL コレステロール、LDL コレステロール

◎各項目の詳細は、本文を参照してください。

特定保健指導の効果についての評価

保健指導(積極的支援及び動機付け支援)の効果がどのくらい継続するのかを、指導後1年後、2年後の検査結果から分析しました。

分析した検査項目は、BMI、腹囲、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、空腹時血糖、HbA1c の9つで、統計学的検定では、 $p < 0.05$ をもって有意差ありとしました。

※本文中、改善度の違いの結果説明において、便宜上、「悪化」という表現を用いていますが、これは検査値が悪い方に有意に変化していたことを示したものであり、疾病の状態の悪化を意味するものではありません。

1 積極的支援の効果について

【分析対象者】

平成 26 年度に積極的支援対象者と判定された人(6,790 人)のうち、平成 27 年度(1 年後)も継続して特定健診を受診した 3,768 人と、さらに平成 28 年(2 年後)も継続受診していた 2,581 人を分析対象としました。

◇1 年後の分析対象者 3,768 人の支援利用状況内訳

	積極的支援利用者	積極的支援未利用者	合計
男性	73 人(2.8%)	2,526 人(97.2%)	2,599 人(100.0%)
女性	45 人(3.8%)	1,124 人(96.2%)	1,169 人(100.0%)
合計	118 人(3.1%)	3,650 人(96.9%)	3,768 人(100.0%)

◇2 年後の分析対象者 2,581 人の支援利用状況内訳

	積極的支援利用者	積極的支援未利用者	合計
男性	54 人(3.1%)	1,692 人(96.9%)	1,746 人(100.0%)
女性	33 人(4.0%)	802 人(96.0%)	835 人(100.0%)
合計	87 人(3.4%)	2,494 人(96.6%)	2,581 人(100.0%)

【分析方法】

平成 26 年度に積極的支援対象者と判定された人のうち、実際に保健指導を利用し終了した人(利用者)と、保健指導を利用しなかった人及び途中で脱落した人(未利用者)の、1 年後(平成 27 年度)及び 2 年後(平成 28 年度)の検査値の変化を分析しました。また、利用者と未利用者の検査値の変化(改善度合い)の違いについても分析しました。

(1)「積極的支援利用者」および「積極的支援未利用者」の検査値の変化について

<1 年後の分析>

平成 26 年度の積極的支援利用者と未利用者のそれぞれが、1 年後に検査値が改善していたのかどうかを、Wilcoxon の符号付順位検定を用いて統計学的検定を行いました。

<2 年後の分析>

平成 26 年度の積極的支援利用者と未利用者のそれぞれが、2 年後に検査値が改善していたのかどうかを、反復測定による分散分析を用いて統計学的検定を行いました。

(2)「積極的支援利用者」と「積極的支援未利用者」の改善度合いの違いについて

<1 年後の分析>

平成 26 年度の積極的支援利用者と未利用者との、1 年後の改善度合いの違いを、Mann-Whitney の検定を用いて統計学的検定を行いました。

<2年後の分析>

平成 26 年度の積極的支援利用者と未利用者との、2 年後の改善度合いの違いについて、二元配置分散分析(対応のない因子と対応のある因子の二元配置分散分析)を用いて検定しました。なお、平成 27 年度、平成 28 年度の支援利用の有無は考慮していません。

2 動機付け支援の効果について

【分析対象者】

平成 26 年度に動機付け支援対象者と判定された人(14,988 人)のうち、平成 27 年度(1 年後)も継続して特定健診を受診した 9,197 人と、さらに平成 28 年度(2 年後)も継続受診していた 6,419 人を分析対象としました。

◇1 年後の分析対象者 9,197 人の支援利用状況内訳

	動機付け支援利用者	動機付け支援未利用者	合計
男性	193 人(3.5%)	5,279 人(96.5%)	5,472 人(100.0%)
女性	154 人(4.1%)	3,571 人(95.9%)	3,725 人(100.0%)
合計	347 人(3.8%)	8,850 人(96.2%)	9,197 人(100.0%)

◇2 年後の分析対象者 6,419 人の支援利用状況内訳

	動機付け支援利用者	動機付け支援未利用者	合計
男性	135 人(3.5%)	3,719 人(96.5%)	3,854 人(100.0%)
女性	118 人(4.6%)	2,447 人(95.4%)	2,565 人(100.0%)
合計	253 人(3.9%)	6,166 人(96.1%)	6,419 人(100.0%)

【分析方法】

平成 26 年度に動機付け支援対象者と判定された人のうち、実際に保健指導を利用し終了した人(利用者)と、保健指導を利用しなかった人及び途中で脱落した人(未利用者)の、1 年後(平成 27 年度)及び 2 年後(平成 28 年度)の検査値の変化を分析しました。また、利用者と未利用者の検査値の変化(改善度合い)の違いについても分析しました。

(1)「動機付け支援利用者」及び「動機付け支援未利用者」の検査値の変化について

<1 年後の分析>

平成 26 年度の動機付け支援利用者と未利用者のそれぞれが、1 年後に検査値が改善して

いたのかどうかを、Wilcoxon の符号付順位検定を用いて統計学的検定を行いました。

<2 年後の分析>

平成 26 年度の動機付け支援利用者と未利用者のそれぞれが、2 年後に検査値が改善していたのかどうかを、反復測定による分散分析を用いて統計学的検定を行いました。

(2)「動機付け支援利用者」と「動機付け支援未利用者」の改善度合いの違いについて

<1 年後の分析>

平成 26 年度の動機付け支援利用者と未利用者との、1 年後の改善度合いの違いを、Mann-Whitney の検定を用いて統計学的検定を行いました。

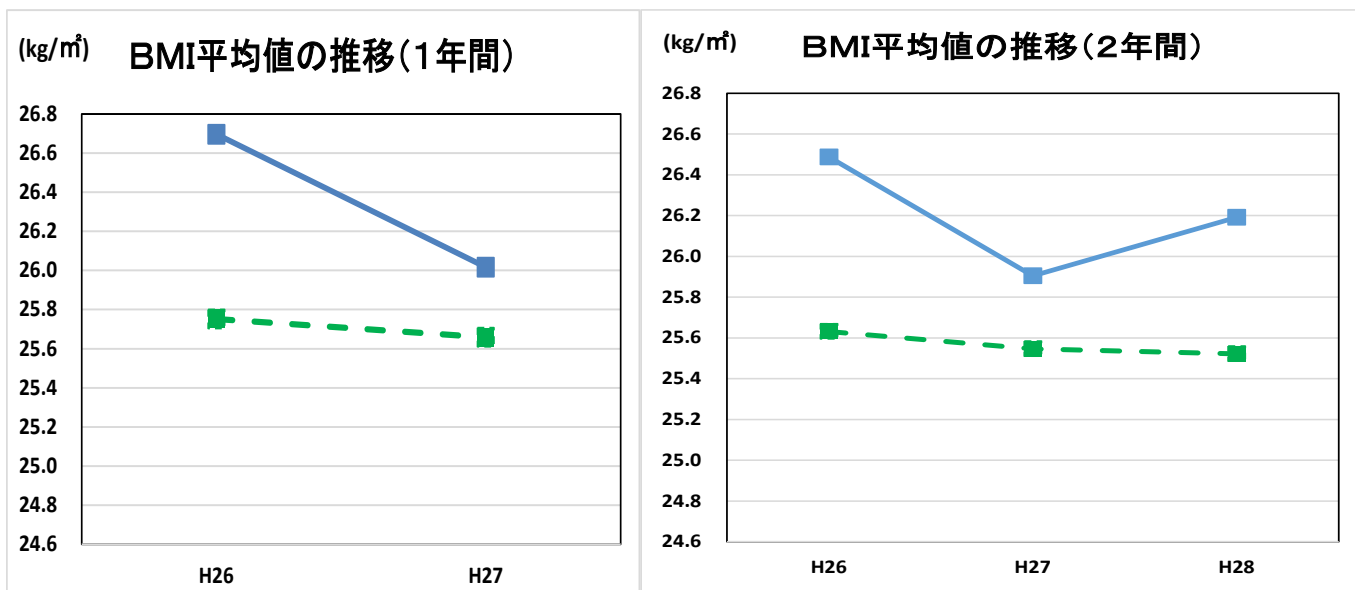
<2 年後の分析>

平成 26 年度の動機付け支援利用者と未利用者との、2 年後の改善度合いの違いについて、二元配置分散分析(対応のない因子と対応のある因子の二元配置分散分析)を用いて検定しました。なお、平成 27 年度、平成 28 年度の支援利用の有無は考慮していません。

① BMI

積極的支援の効果について

— 積極的支援利用者
 - - 積極的支援未利用者



積極的支援利用者、未利用者とも、1年後だけでなく2年後でも統計学的に有意にBMIが減少していました。また、平成26年度の積極的支援利用者と未利用者の改善度の違いを統計学的に検定したところ、1年後及び2年後についても、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

<1年後の分析結果>

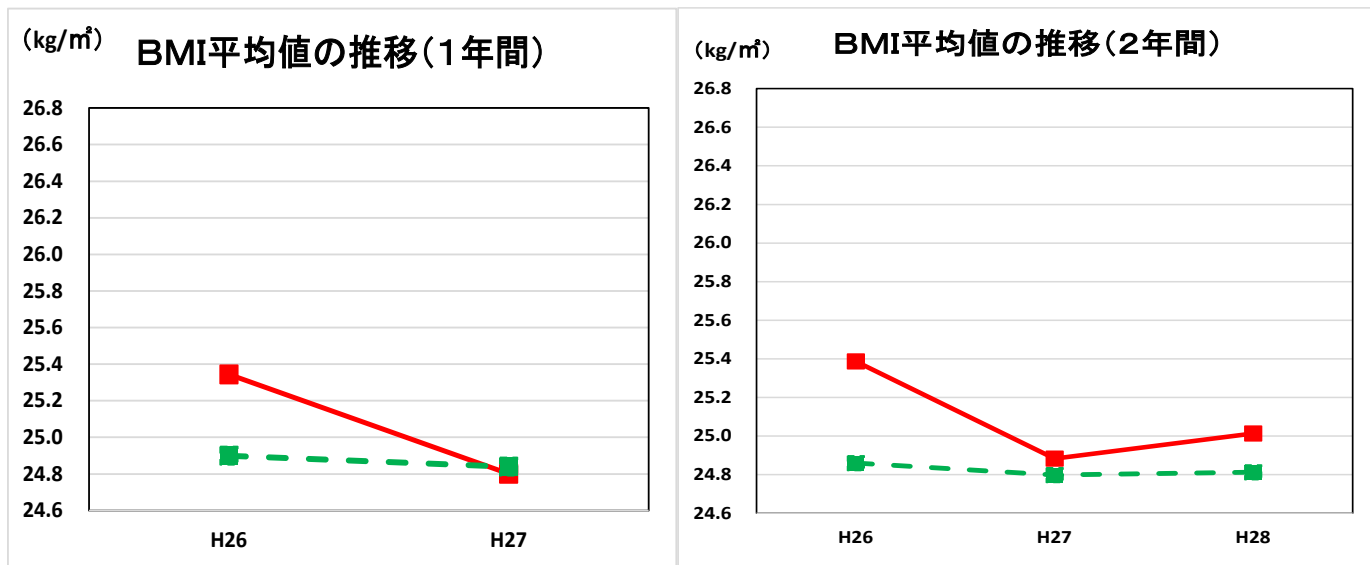
	BMI 平均値 (kg/m ²)		平均値の差 (kg/m ²)	BMI の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27			
積極的支援利用者 (n=118)	26.70	26.02	0.68	有意差あり	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=3,650)	25.75	25.66	0.09	有意差あり	

<2年後の分析結果>

	BMI 平均値 (kg/m ²)			H26とH28の平均値の差(kg/m ²)	BMI の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27	H28			
積極的支援利用者 (n=87)	26.49	25.90	26.19	0.29	有意差あり	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=2,494)	25.63	25.55	25.52	0.11	有意差あり	

動機付け支援の効果について

— 動機付け支援利用者
- - - 動機付け支援未利用者



動機付け支援利用者、未利用者とも、1年後だけでなく2年後でも統計学的に有意にBMIが減少していました。また、平成26年度の動機付け支援利用者と未利用者の改善度の違いを統計学的に検定したところ、1年後及び2年後についても、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

<1年後の分析結果>

	BMI 平均値 (kg/m ²)		平均値の 差 (kg/m ²)	BMIの変化 の検定	支援利用と未利用 による改善度合い の違いの検定
	H26	H27			
動機付け支援利用者 (n=347)	25.34	24.80	0.54	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=8,850)	24.90	24.84	0.06	有意差あり	

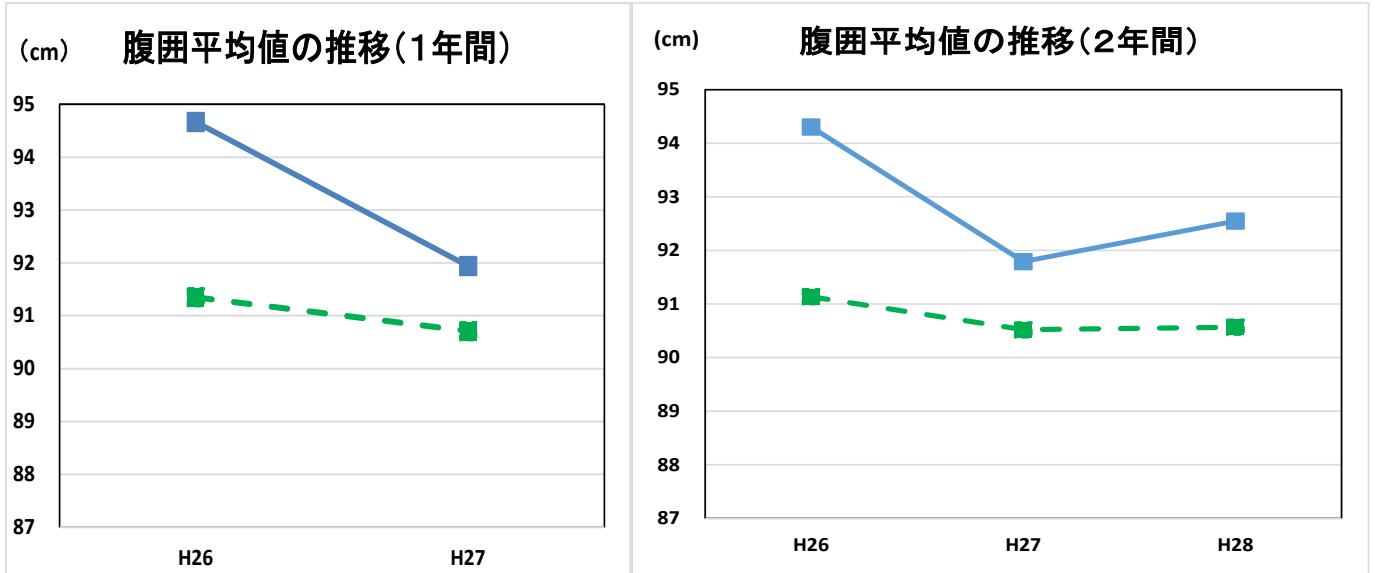
<2年後の分析結果>

	BMI 平均値 (kg/m ²)			H26と H28の平 均値の差 (kg/m ²)	BMIの変化 の検定	支援利用と未利用 による改善度合い の違いの検定
	H26	H27	H28			
動機付け支援利用者 (n=253)	25.39	24.88	25.01	0.37	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=6,166)	24.86	24.80	24.81	0.05	有意差あり	

② 腹囲

積極的支援の効果について

— 積極的支援利用者
 - - 積極的支援未利用者



積極的支援利用者、未利用者とも、1年後だけでなく2年後でも有意に腹囲が減少していました。また、平成26年度の積極的支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後及び2年後についても、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

< 1年後の分析結果 >

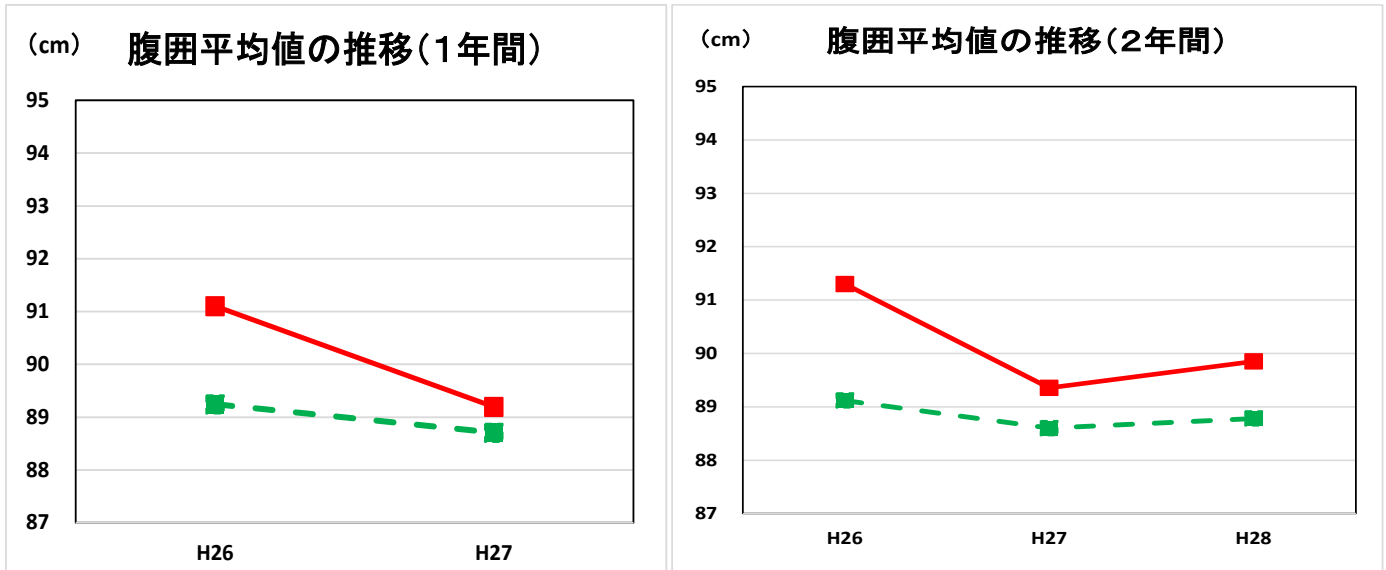
	腹囲平均値 (cm)		平均値の差 (cm)	腹囲の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27			
積極的支援利用者 (n=118)	94.67	91.94	2.73	有意差あり	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=3,650)	91.35	90.71	0.64	有意差あり	

< 2年後の分析結果 >

	腹囲平均値 (cm)			H26とH28の平均値の差(cm)	腹囲の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27	H28			
積極的支援利用者 (n=87)	94.30	91.79	92.55	1.76	有意差あり	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=2,494)	91.14	90.52	90.57	0.57	有意差あり	

動機付け支援の効果について

— 動機付け支援利用者
 - - - 動機付け支援未利用者



動機付け支援利用者、未利用者とも、1年後だけでなく2年後でも有意に腹囲が減少していました。また、平成26年度の動機付け支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後及び2年後についても、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

< 1年後の分析結果 >

	腹囲平均値 (cm)		平均値の差 (cm)	腹囲の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27			
動機付け支援利用者 (n=347)	91.10	89.19	1.91	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=8,846)	89.24	88.71	0.53	有意差あり	

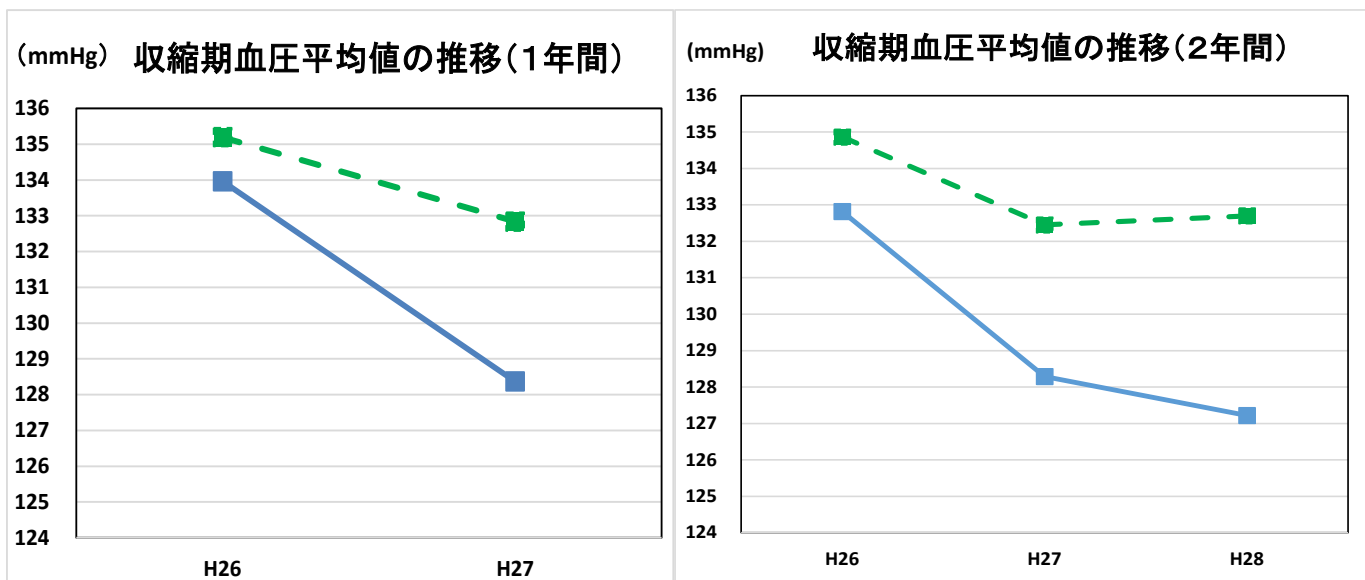
< 2年後の分析結果 >

	腹囲平均値 (cm)			H26とH28の平均値の差(cm)	腹囲の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27	H28			
動機付け支援利用者 (n=253)	91.30	89.36	89.85	1.45	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=6,162)	89.12	88.60	88.78	0.34	有意差あり	

③ 収縮期血圧

積極的支援の効果について

— 積極的支援利用者
- - 積極的支援未利用者



積極的支援利用者、未利用者とも、1年後だけでなく2年後でも有意に収縮期血圧が低下していました。また、平成26年度の積極的支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後及び2年後についても、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

< 1年後の分析結果 >

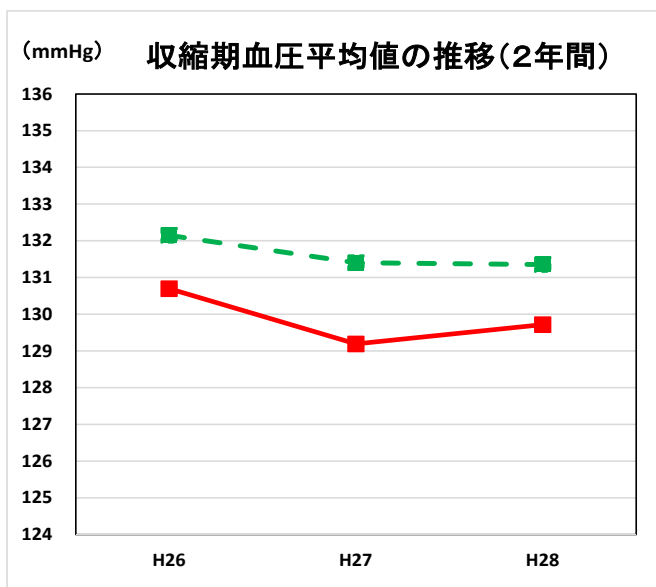
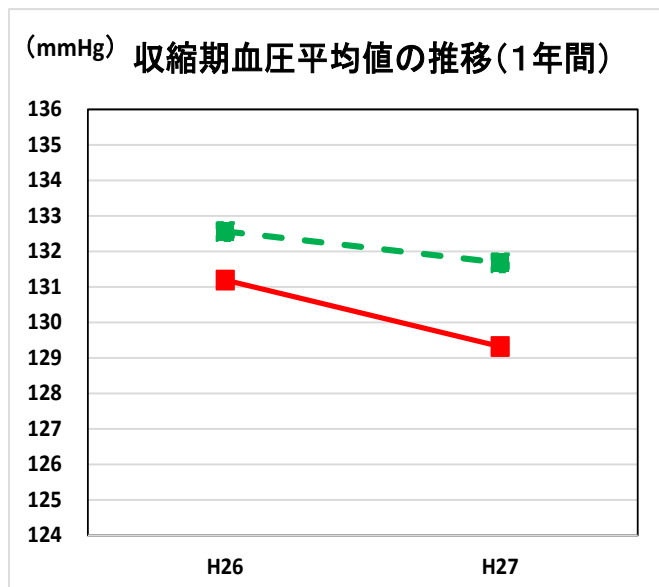
	収縮期血圧 平均値(mmHg)		平均値の差 (mmHg)	収縮期血圧 の変化の検 定	支援利用と未利用に よる改善度合いの違 いの検定
	H26	H27			
積極的支援利用者 (n=118)	133.96	128.36	5.59	有意差あり	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=3,649)	135.20	132.84	2.36	有意差あり	

< 2年後の分析結果 >

	収縮期血圧平均値 (mmHg)			H26とH28 の平均値の 差(mmHg)	収縮期血圧 の変化の検 定	支援利用と未利用に よる改善度合いの違 いの検定
	H26	H27	H28			
積極的支援利用者 (n=87)	132.82	128.29	127.22	5.60	有意差あり	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=2,493)	134.86	132.45	132.70	2.16	有意差あり	

動機付け支援の効果について

— 動機付け支援利用者
 - - - 動機付け支援未利用者



動機付け支援利用者では、1年後は統計的に有意に収縮期血圧が低下していましたが、2年後には有意な変化は見られませんでした。未利用者では、1年後も2年後も有意に収縮期血圧が低下していませんでした。また、平成26年度の動機付け支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後では、改善度合いの違いに有意な差は見られませんでした。2年後まででは、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

< 1年後の分析 >

	収縮期血圧平均値(mmHg)		平均値の差 (mmHg)	収縮期血圧の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27			
動機付け支援利用者 (n=346)	131.19	129.32	1.87	有意差あり	有意差なし
動機付け支援未利用者 (n=8,849)	132.56	131.68	0.88	有意差あり	

< 2年後の分析 >

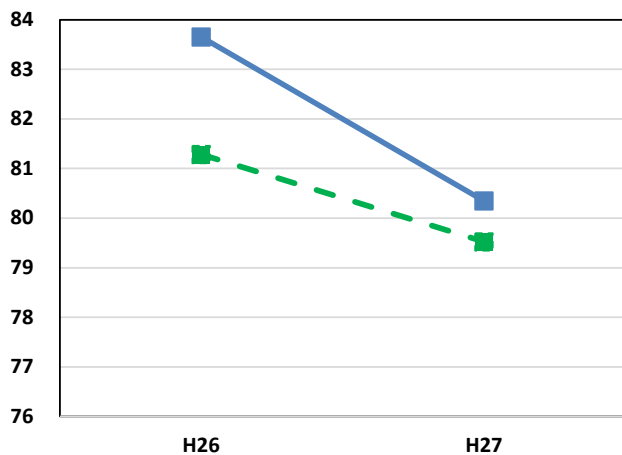
	収縮期血圧平均値 (mmHg)			H26とH28の平均値の差 (mmHg)	収縮期血圧の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27	H28			
動機付け支援利用者 (n=252)	130.70	129.19	129.72	0.98	有意差なし	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=6,166)	132.15	131.41	131.35	0.80	有意差あり	

④ 拡張期血圧

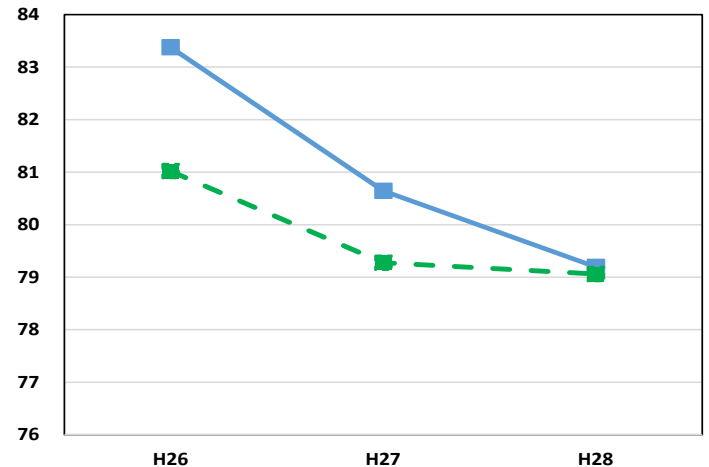
積極的支援の効果について

— 積極的支援利用者
 - - 積極的支援未利用者

(mmHg) 拡張期血圧平均値の推移(1年間)



(mmHg) 拡張期血圧平均値の推移(2年間)



積極的支援利用者、未利用者とも、1年後だけでなく2年後でも有意に拡張期血圧が低下していました。また、平成26年度の積極的支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後及び2年後についても、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

< 1年後の分析結果 >

	拡張期血圧平均値(mmHg)		平均値の差(mmHg)	拡張期血圧の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27			
積極的支援利用者 (n=118)	83.65	80.35	3.31	有意差あり	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=3,649)	81.28	79.52	1.76	有意差あり	

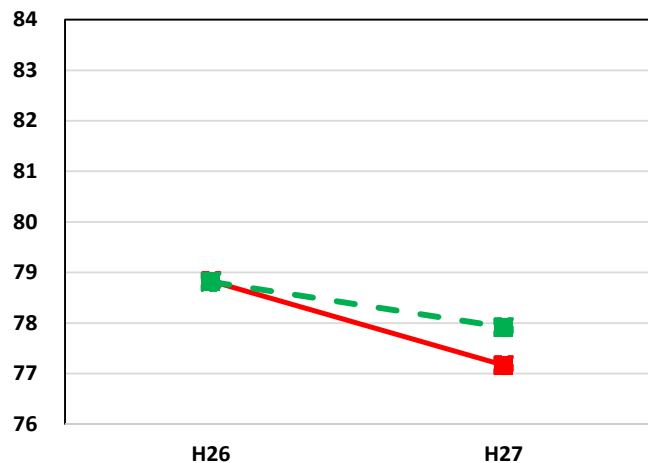
< 2年後の分析結果 >

	拡張期血圧平均値(mmHg)			H26とH28の平均値の差(mmHg)	拡張期血圧の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27	H28			
積極的支援利用者 (n=87)	83.38	80.64	79.20	4.18	有意差あり	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=2,493)	81.02	79.28	79.06	1.96	有意差あり	

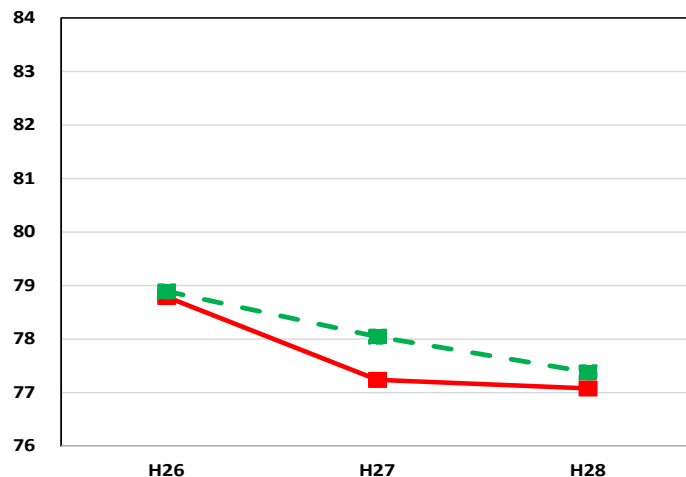
動機付け支援の効果について

— 動機付け支援利用者
 - - 動機付け支援未利用者

(mmHg) 拡張期血圧平均値の推移(1年間)



(mmHg) 拡張期血圧平均値の推移(2年間)



動機付け支援利用者、未利用者とも、1年後だけでなく2年後でも有意に拡張期血圧が低下していました。また、平成26年度の動機付け支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後では、改善度合いに有意な差は見られませんでしたでしたが、2年後まででは、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

< 1年後の分析 >

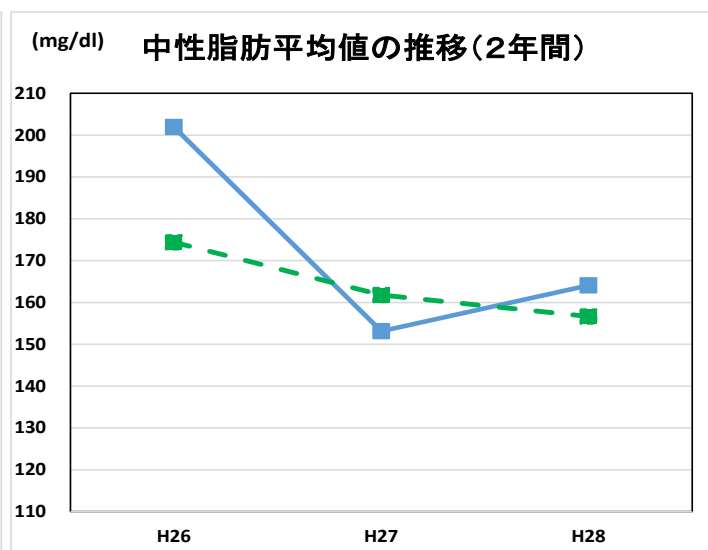
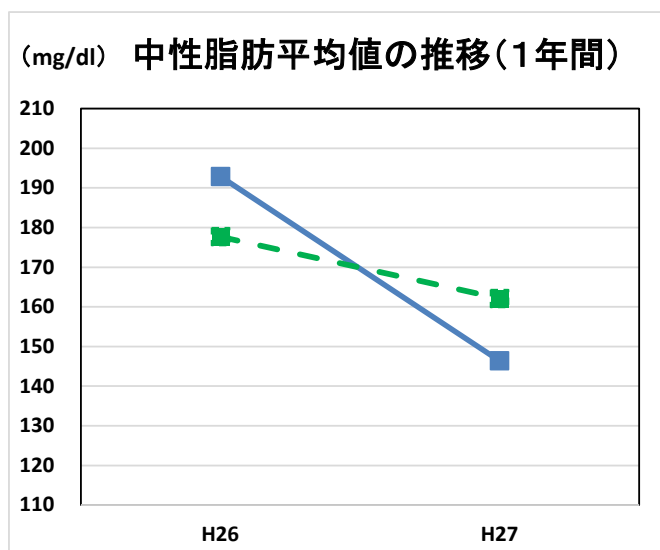
	拡張期血圧 平均値(mmHg)		平均値の 差 (mmHg)	拡張期血圧変 化の検定	支援利用と未利 用による改善度 合いの違いの 検定
	H26	H27			
動機付け支援利用者 (n=346)	78.83	77.16	1.67	有意差あり	有意差なし
動機付け支援未利用者 (n=8,849)	78.81	77.92	0.89	有意差あり	

< 2年後の分析 >

	拡張期血圧平均値 (mmHg)			H26とH28 の平均値 の差 (mmHg)	拡張期血圧の 変化の検定	支援利用と未利 用による改善度 合いの違いの 検定
	H26	H27	H28			
動機付け支援利用者 (n=252)	78.79	77.24	77.08	1.71	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=6,166)	78.89	78.04	77.38	1.51	有意差あり	

⑤ 中性脂肪

積極的支援の効果について



積極的支援利用者、未利用者とも、1年後だけでなく2年後でも有意に中性脂肪が減少していました。また、平成26年度の積極的支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後及び2年後についても、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

< 1年後の分析結果 >

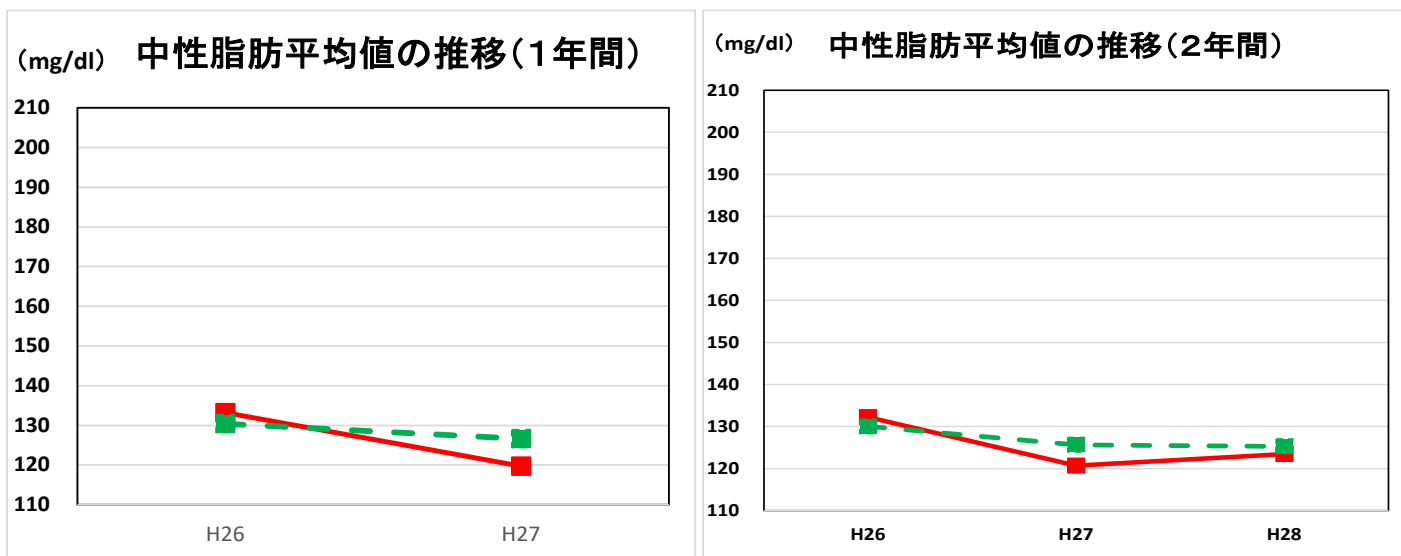
	中性脂肪平均値(mg/dl)		平均値の差(mg/dl)	中性脂肪の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27			
積極的支援利用者 (n=118)	192.85	146.38	46.47	有意差あり	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=3,649)	177.68	162.09	15.59	有意差あり	

< 2年後の分析結果 >

	中性脂肪平均値(mg/dl)			H26とH28の平均値の差(mg/dl)	中性脂肪の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27	H28			
積極的支援利用者 (n=87)	201.95	153.16	164.09	37.86	有意差あり	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=2,493)	174.36	161.77	156.64	17.72	有意差あり	

動機付け支援の効果について

— 動機付け支援利用者
 - - - 動機付け支援未利用者



動機付け支援利用者、未利用者とも、1年後だけでなく2年後でも有意に中性脂肪が減少していました。また、平成26年度の動機付け支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後及び2年後についても、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

<1年後の分析>

	中性脂肪 平均値(mg/dl)		平均値の差 (mg/dl)	中性脂肪 の変化の 検定	支援利用と未利用 による改善度 合いの違いの検 定
	H26	H27			
動機付け支援利用者 (n=347)	133.23	119.72	13.51	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=8,849)	130.41	126.64	3.77	有意差あり	

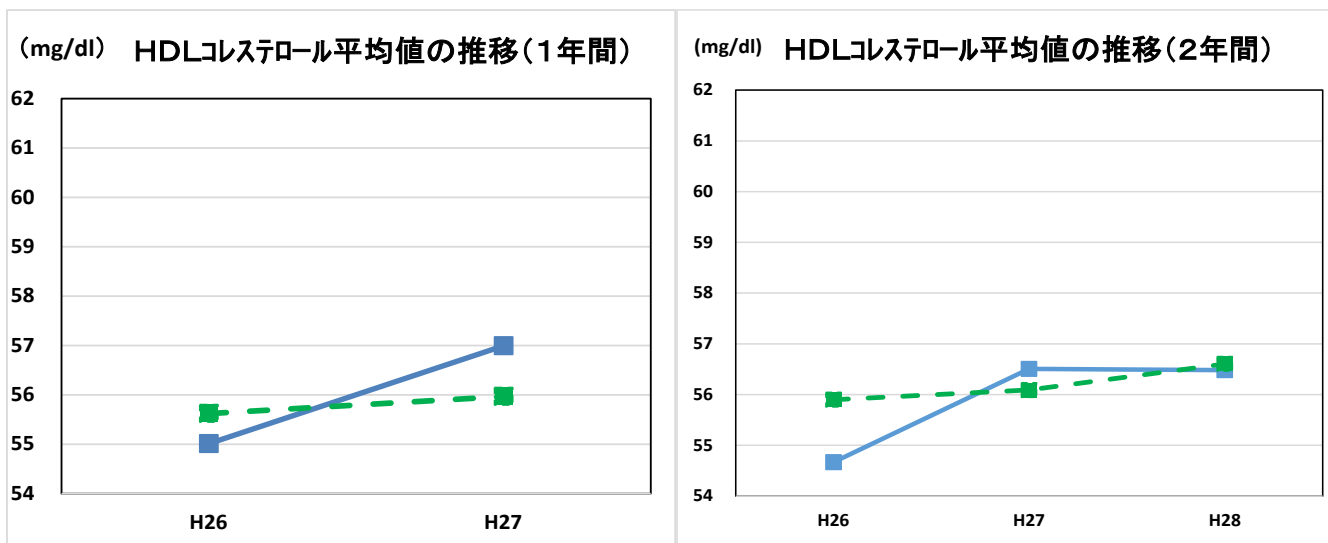
<2年後の分析>

	中性脂肪平均値 (mg/dl)			H26とH28 の平均値の 差(mg/dl)	中性脂肪 の変化の 検定	支援利用と未利用 による改善度 合いの違いの検 定
	H26	H27	H28			
動機付け支援利用者 (n=253)	132.23	120.67	123.44	8.79	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=6,166)	130.03	125.64	125.26	4.77	有意差あり	

⑥ HDL コレステロール

積極的支援の効果について

— 積極的支援利用者
- - 積極的支援未利用者



積極的支援利用者では、1年後は統計的に有意にHDLコレステロールが増加していましたが、2年後には有意な変化は見られませんでした。未利用者では、1年後も2年後も有意にHDLコレステロールが増加していました。また、平成26年度の積極的支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後及び2年後についても、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

< 1年後の分析結果 >

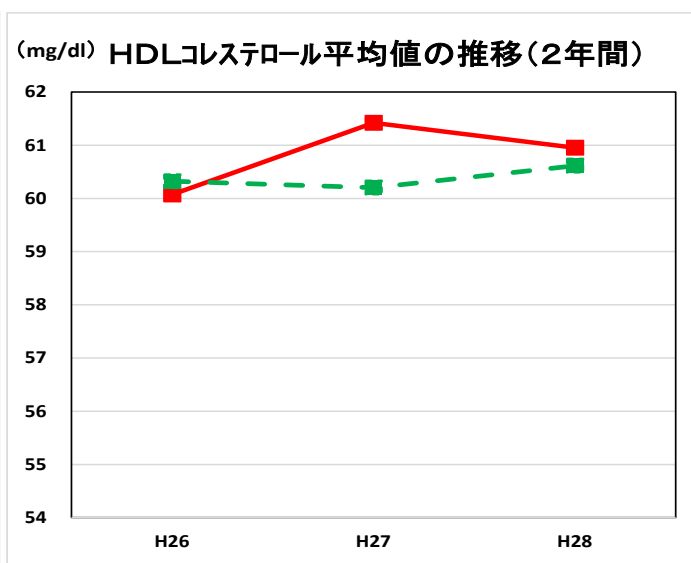
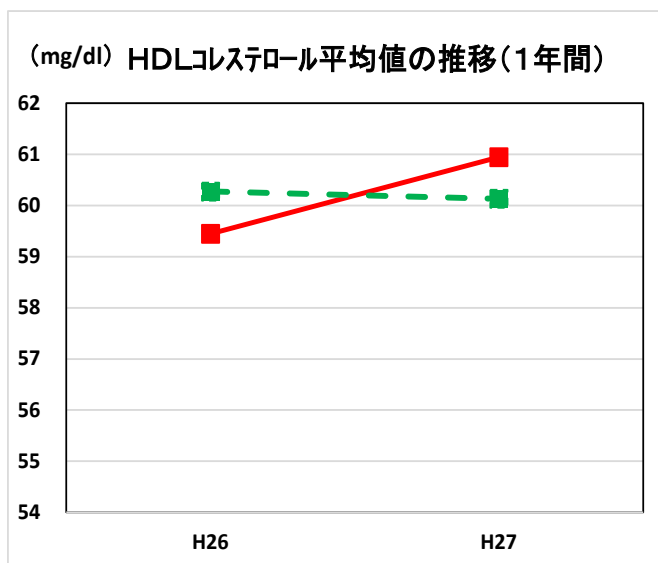
	HDL コレステロール 平均値(mg/dl)		平均値の差 (mg/dl)	HDL コレス テロールの 変化の検定	支援利用と未利用 による改善度合い の違いの検定
	H26	H27			
積極的支援利用者 (n=118)	55.01	56.99	-1.98	有意差あり	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=3,649)	55.62	55.95	-0.34	有意差あり	

< 2年後の分析結果 >

	HDL コレステロール 平均値 (mg/dl)			H26とH28 の平均値の 差(mg/dl)	HDL コレス テロールの 変化の検定	支援利用と未利用 による改善度合い の違いの検定
	H26	H27	H28			
積極的支援利用者 (n=87)	54.67	56.51	56.48	-1.82	有意差なし	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=2,493)	55.90	56.09	56.61	-0.71	有意差あり	

動機付け支援の効果について

— 動機付け支援利用者
 - - - 動機付け支援未利用者



動機付け支援利用者では、1年後だけでなく2年後でも有意にHDLコレステロールが増加していました。未利用者では、1年後は有意にHDLコレステロールが減少し、2年後には有意に増加していました。また、平成26年度の動機付け支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後及び2年後についても、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

< 1年後の分析 >

	HDLコレステロール 平均値(mg/dl)		平均値 の差 (mg/dl)	HDLコレステ ロールの変化 の検定	支援利用と未 利用による改 善度合いの違 いの検定
	H26	H27			
動機付け支援利用者 (n=347)	59.45	60.95	-1.50	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=8,848)	60.27	60.13	0.14	有意差あり	

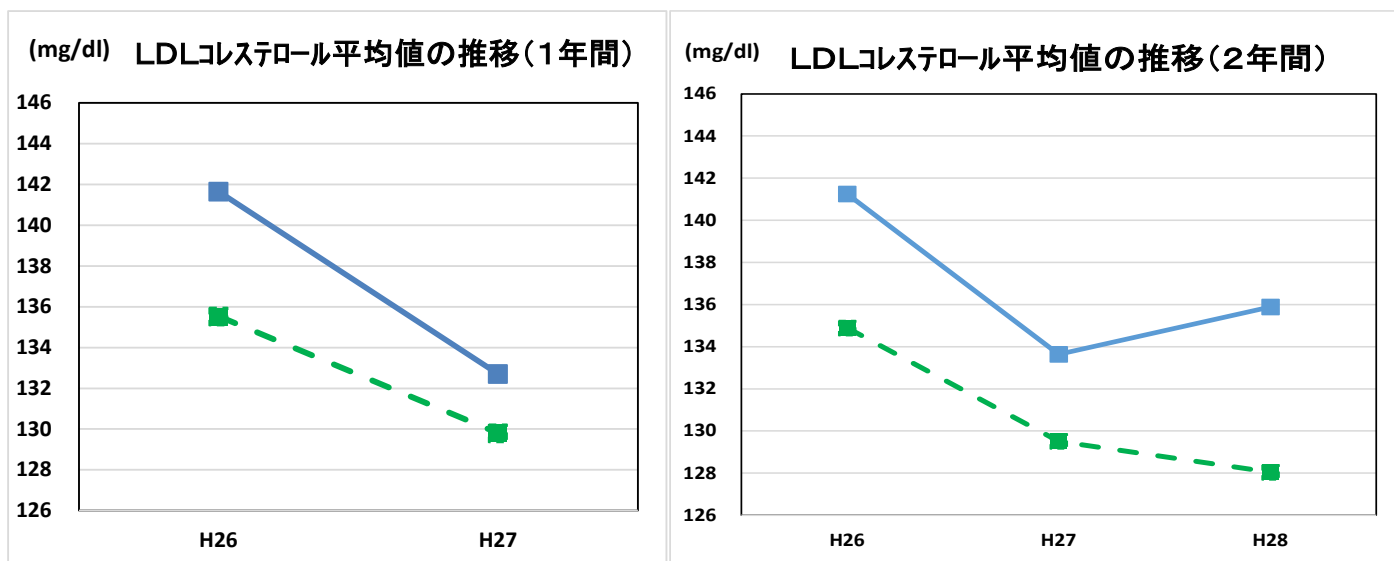
< 2年後の分析 >

	HDLコレステロール 平均値 (mg/dl)			H26と H28の 平均値 の差 (mg/dl)	HDLコレステ ロールの変化 の検定	支援利用と未 利用による改 善度合いの違 いの検定
	H26	H27	H28			
動機付け支援利用者 (n=253)	60.08	61.42	60.95	-0.88	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=6,165)	60.32	60.20	60.61	-0.29	有意差あり	

⑦ LDLコレステロール

積極的支援の効果について

— 積極的支援利用者
- - 積極的支援未利用者



積極的支援利用者では、1年後は有意にLDLコレステロールが減少していましたが、2年後には有意な変化は見られませんでした。未利用者では、1年後だけでなく2年後でも有意にLDLコレステロールが減少していました。また、平成26年度の積極的支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後では、改善度合いの違いに有意な差は見られませんでした。2年後まででは、未利用者の方が利用者よりも改善していました。

<1年後の分析結果>

	LDL コレステロール 平均値(mg/dl)		平均値の差 (mg/dl)	LDL コレステ ロールの変 化の検定	支援利用と未利用 による改善度合い の違いの検定
	H26	H27			
積極的支援利用者 (n=118)	141.65	132.71	8.94	有意差あり	有意差なし
積極的支援未利用者 (n=3,649)	135.53	129.79	5.73	有意差あり	

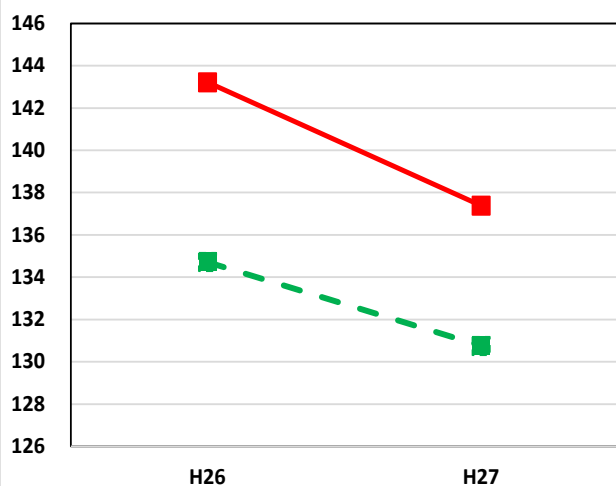
<2年後の分析結果>

	LDL コレステロール 平均値 (mg/dl)			H26とH28 の平均値の 差(mg/dl)	LDL コレステ ロールの変 化の検定	支援利用と未利用 による改善度合い の違いの検定
	H26	H27	H28			
積極的支援利用者 (n=87)	141.25	133.63	135.89	5.37	有意差なし	有意差あり
積極的支援未利用者 (n=2,493)	134.89	129.51	128.05	6.84	有意差あり	

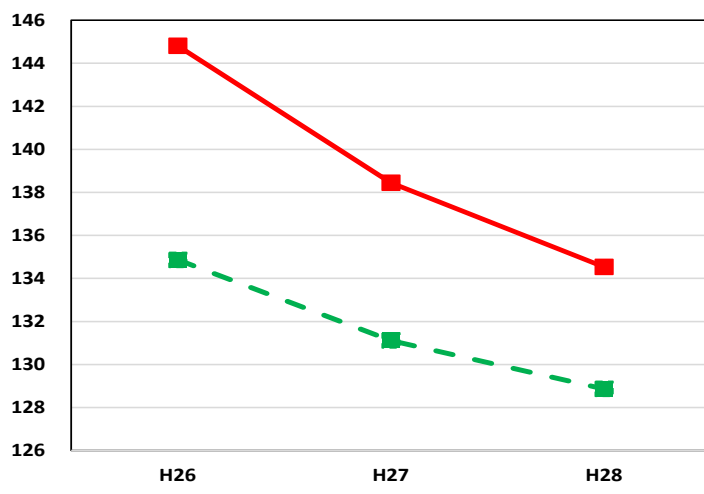
動機付け支援の効果について

— 動機付け支援利用者
 - - - 動機付け支援未利用者

(mg/dl) LDLコレステロール平均値の推移(1年間)



(mg/dl) LDLコレステロール平均値の推移(2年間)



動機付け支援利用者、未利用者とも、1年後だけでなく2年後でも有意にLDLコレステロールが減少していました。また、平成26年度の動機付け支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後では、改善度合いの違いに有意な差は見られませんでした。2年後まででは、利用者の方が未利用者よりも改善していました。

< 1年後の分析 >

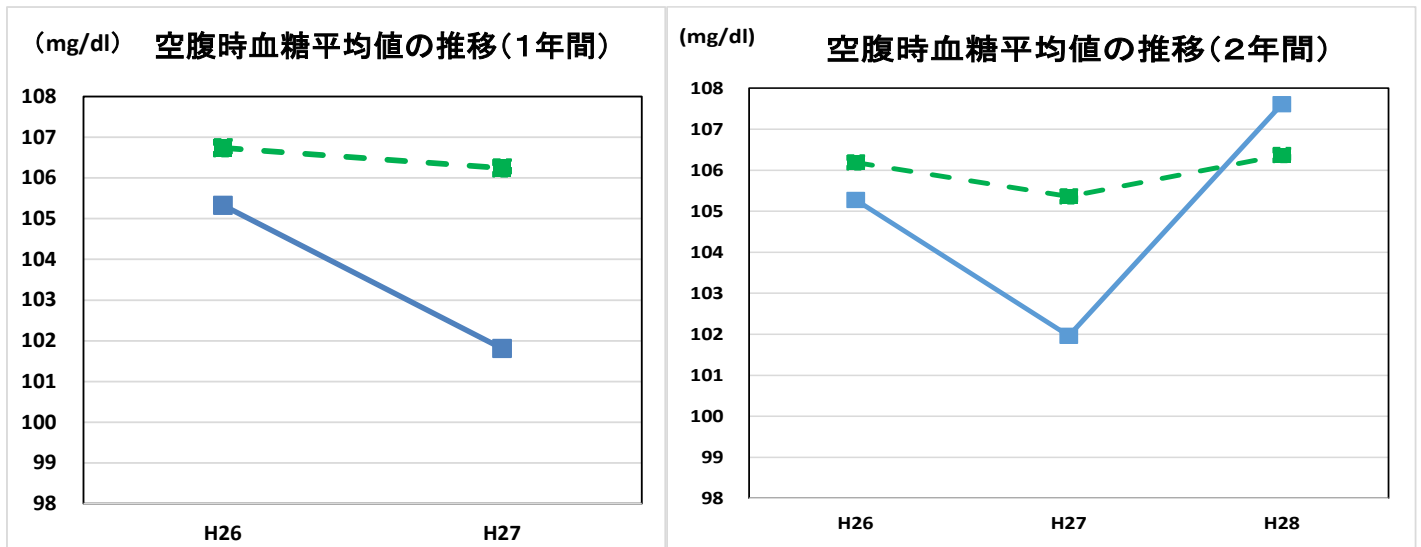
	LDL コレステロール 平均値(mg/dl)		平均値の 差 (mg/dl)	LDL コレス テロールの 変化の検定	支援利用と未 利用による改 善度合いの違 いの検定
	H26	H27			
動機付け支援利用者 (n=347)	143.22	137.38	5.84	有意差あり	有意差なし
動機付け支援未利用者 (n=8,848)	134.72	130.75	3.96	有意差あり	

< 2年後の分析 >

	LDLコレステロール 平均値 (mg/dl)			H26とH28 の平均値 の差 (mg/dl)	LDL コレス テロールの 変化の検定	支援利用と未 利用による改 善度合いの違 いの検定
	H26	H27	H28			
動機付け支援利用者 (n=253)	144.81	138.45	134.54	10.28	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=6,165)	134.87	131.12	128.87	6.00	有意差あり	

⑧ 空腹時血糖

積極的支援の効果について



積極的支援利用者、未利用者とも、1年後も2年後も空腹時血糖に有意な変化は見られませんでした。平成26年度の積極的支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後では、改善度の違いに有意な差は見られませんでした。2年後まででは、利用者の方が未利用者よりも悪化していました。

< 1年後の分析結果 >

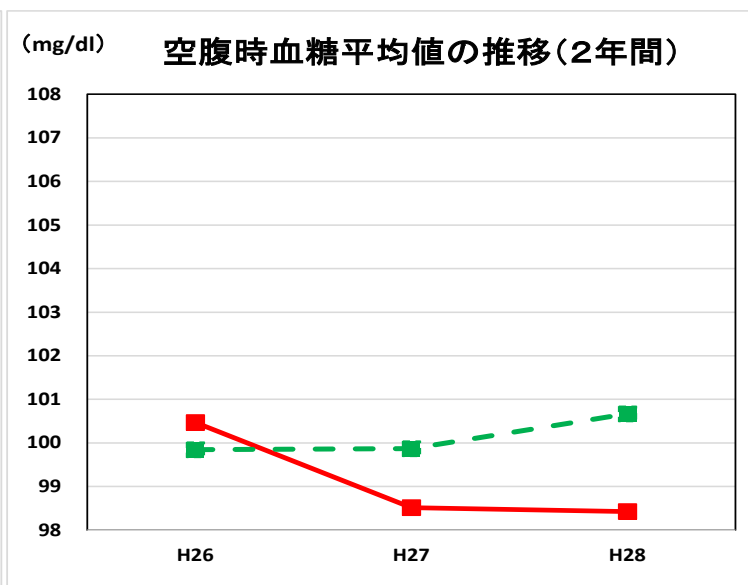
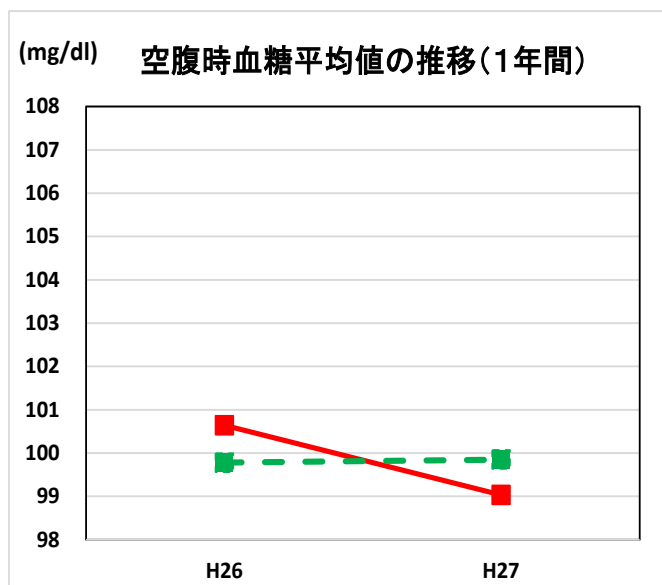
	空腹時血糖 平均値(mg/dl)		平均値の差 (mg/dl)	空腹時血糖 の変化の検 定	支援利用と未利用 による改善度合い の違いの検定
	H26	H27			
積極的支援利用者 (n=79)	105.33	101.81	3.52	有意差なし	有意差なし
積極的支援未利用者 (n=2,740)	106.74	106.24	0.50	有意差なし	

< 2年後の分析結果 >

	空腹時血糖値 平均値 (mg/dl)			H26とH28 の平均値の 差(mg/dl)	空腹時血糖 の変化の検 定	支援利用と未利用 による改善度合い の違いの検定
	H26	H27	H28			
積極的支援利用者 (n=51)	105.27	101.96	107.61	-2.33	有意差なし	有意差あり (悪化)
積極的支援未利用者 (n=1,810)	106.19	105.36	106.37	-0.18	有意差なし	

動機付け支援の効果について

— 動機付け支援利用者
 - - 動機付け支援未利用者



動機付け支援利用者では、1年後も2年後も空腹時血糖が有意に低下していました。未利用者では、1年後は有意な変化は見られませんでした。2年後には有意に空腹時血糖が増加していました。平成26年度の動機付け支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後では、利用者の方が未利用者よりも改善していましたが、2年後まででは有意な変化は見られませんでした。

<1年後の分析>

	空腹時血糖平均値(mg/dl)		平均値の差(mg/dl)	空腹時血糖の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27			
動機付け支援利用者 (n=215)	100.64	99.03	1.61	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=6,694)	99.78	99.85	-0.07	有意差なし	

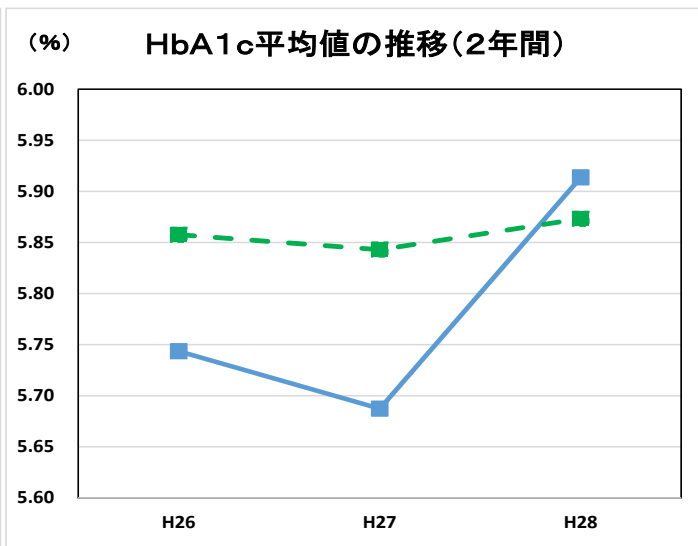
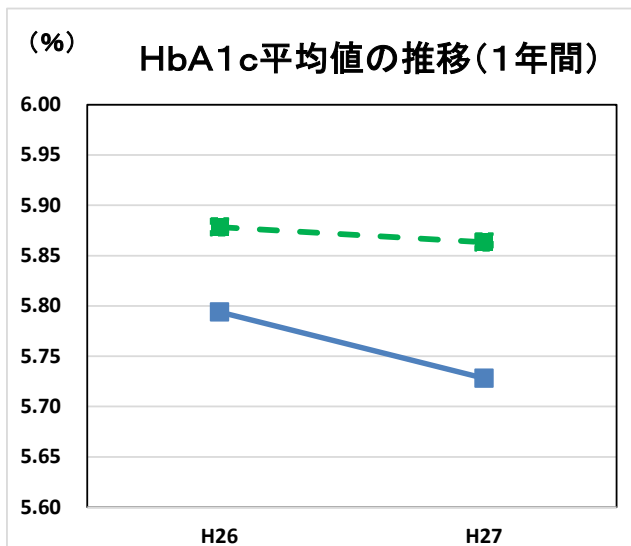
<2年後の分析>

	空腹時血糖値平均値(mg/dl)			H26とH28の平均値の差(mg/dl)	空腹時血糖の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27	H28			
動機付け支援利用者 (n=148)	100.47	98.51	98.43	2.04	有意差あり	有意差なし
動機付け支援未利用者 (n=4,458)	99.85	99.87	100.67	-0.82	有意差あり	

⑨ H b A 1 c

積極的支援の効果について

— 積極的支援利用者
 - - 積極的支援未利用者



積極的支援利用者では、1年後も2年後もHbA1cに有意な変化は見られませんでした。未利用者では、1年後は有意な変化は見られませんでした、2年後は有意に増加していました。

また、平成26年度の積極的支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後では、改善度合いの違いに有意な差は見られませんでした、2年後まででは、利用者の方が未利用者よりも悪化していました。

<1年後の分析>

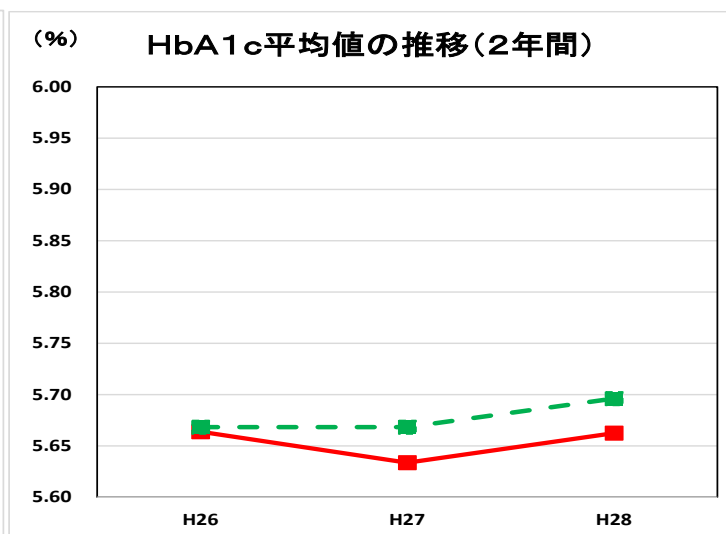
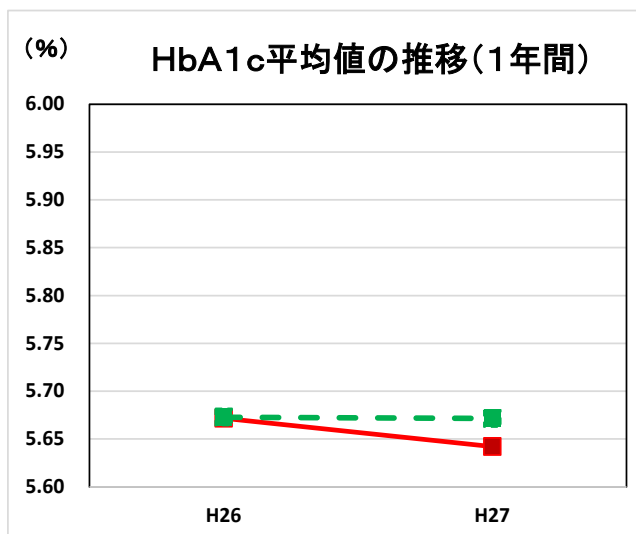
	HbA1c 平均値 (%)		平均値の差 (%)	HbA1c の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27			
積極的支援利用者 (n=118)	5.79	5.73	0.07	有意差なし	有意差なし
積極的支援未利用者 (n=3,648)	5.88	5.86	0.02	有意差なし	

<2年後の分析>

	HbA1c 平均値 (%)			H26とH28の平均値の差(%)	HbA1c の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27	H28			
積極的支援利用者 (n=87)	5.74	5.69	5.91	-0.17	有意差なし	有意差あり (悪化)
積極的支援未利用者 (n=2,492)	5.86	5.84	5.87	-0.02	有意差あり	

動機付け支援の効果について

— 動機付け支援利用者
 - - - 動機付け支援未利用者



動機付け支援利用者では、1年後はHbA1cが有意に低下していましたが、2年後には有意な変化は見られませんでした。未利用者では、1年後は有意にHbA1cが低下していましたが、2年後には有意に増加していました。また、平成26年度の動機付け支援利用者と未利用者の改善度の違いを検定したところ、1年後では利用者は、未利用者と比べて改善していましたが、2年後まででは有意な差は見られませんでした。

< 1年後の分析 >

	HbA1c 平均値 (%)		平均値の差 (%)	HbA1c の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27			
動機付け支援利用者 (n=347)	5.67	5.64	0.03	有意差あり	有意差あり
動機付け支援未利用者 (n=8,848)	5.67	5.67	0.00	有意差あり	

< 2年後の分析 >

	HbA1c 平均値 (%)			H26とH28の平均値の差(%)	HbA1c の変化の検定	支援利用と未利用による改善度合いの違いの検定
	H26	H27	H28			
動機付け支援利用者 (n=253)	5.66	5.63	5.66	0.00	有意差なし	有意差なし
動機付け支援未利用者 (n=6,165)	5.67	5.67	5.70	-0.03	有意差あり	